

## キリストの聖体 A年

神のことばを味わい、祈り、生きる



「主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで」

### 第1朗読 申命記 (申命記 8・2～3、14b～16a)

#### 味わう

\* 言うまでも無く、キリスト者は、イエスのことば、行い、最後の晩餐（ばんさん）、死、復活をいつも思い起して生きる者です。思い起すこと、それはただの過去の出来事を思い出すのではなく、生きた記念として、主イエスのすべてを思い起して、主イエスに生きるためです。

モーセの時代のヘブライ人も、「あなたの神、主が導かれたこの40年の荒れ野の旅を思い起こしなさい。こうして、主はあなたを苦しめて試し、あなたの心にあること、すなわちご自分の戒めを守るかどうかを知ろうとされた」という体験をしました。エジプトで奴隷であったが解放されたこと、海を奇跡的に渡れたこと、シナイ山で神との契約を結ばれたこと、砂漠でマナを与えられたことを思い起していました。

試練の中にあって、人間がいかに弱い者であるかという辛い体験をし、神がいつもご自分の民の苦しみをみて、“はらわた”から共感してくださっていることをも悟るためでした。

\* 「あなたは、人が自分の子を訓練するように、あなたの神、主があなたを訓練されることを心に留めなさい」（申命記 8・5）。訓練の目的は、神が、救われた民からの感謝を期待することにあるのではなく、その民に生きるための掟を与え、救われたときと同じように、「常に幸いに生きる」ことにあります（申命記 6・24）。

\* 「人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口からでるすべての言葉によって生きる」と。人間に対して神がなさるわざの目的はいつもわたしたちの幸せです。

#### 祈る

\* イスラエルの長い歴史の間に神がなさった救いの出来事を思い起して、感謝の祈りをささげます。

- \* 主イエスの時代から教会を導いてくださる神に感謝をささげます。
- \* これからも、神の国の完成に向かって歩めるように願います。
- \* 自分の人生において、いつ、誰を通して、どんな出来事を通して、神のあわれみ深い導きがあったかを思い起して感謝します。

## 生きる

- \* 神の掟は、生きるために、自由の人になって人を大切するためにあると、あらためて思い起します。
- \* 人々が自分の弱さ、飢え、渇きを体験して、主の導きを信じるように。
- \* 主からのことばを一つひとつ心と魂の糧にするように毎日聖書を開いて、神のことばによって、決意を新たにします。

## 答唱詩編 (詩編 147・12～15、18～19)

\* 奴隷の地から解放されて、荒れ野で厳しい道を歩み続け、やっと、約束の地に入られた喜び、更にバビロン捕囚から自由になった喜びをもって神をほめたたえる詩編です。「良い麦でおまえを養われる」神、「定めとおきてをイスラエルに告げられる」神のわざを思い起して、「主をたたえよう、主はいつくしみふかく、そのあわれみは永遠」と歌います。

- \* 本来ならばこの詩編の20節も歌うことになっています。

「どの国に対しても、(主は) このように計らわれたことはない。

彼らは主の裁き(おきて)を知りえない。ハレルヤ」

この節を読むと、洗礼志願式するとき、司式者が、洗礼志願者を「神の選びを受けた」と形容することを思い起します。素晴らしい人だから選ばれたのではなく、神に導かれていなかったならば、とんでもない道を迷ってしまったに違いないから選ばれたのだと謙遜に思いたいです(一テモテの手紙1・12・17)。

- \* 神の愛による選びで、選ばれたこと自体は、得点ではなく、人々に神の愛を行ないとことばを通してあかしする使命です(イザヤ41・8～10)。

## 第2朗読 使徒パウロのコリントの教会へ手紙 (一コリント10・16～17)

### 味わう

- \* パウロは、コリントの共同体の信者に主イエス・キリストのことを思い起させます。

「わたしたちが神を賛美する賛美の杯は、キリストの血(いのち)にあずかることではないか。

わたしたちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないか」

背景にある問題は、キリスト者になる前に異教の神殿で犠牲祭儀に参加していた人のうちに、またあずかりたいという人がいた問題、そして生贄(いけにえ)のために献げられた肉は、市場で売られていて、食べてもいかどうかという問題もありました。そこで、パウロは、キリストを信じる者はキリストにあずかる者であると強調します。「あずかる」とは、キリストと深く一致して、キリストと交わる意味のことばです。

### 祈る

- \* 「イエス・キリストのことを思い起こしなさい。この方は、死者の中から復活されたのです」(二テモテ2・8)。

ミサの時、「信仰の神秘」の呼びかけに応じて、

- ・ 「主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで」と信仰宣言を唱えます。

「わたしたちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないか」

- ・ 原文では、コイノニア communion

「パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを分けて食べるからです」

## 生きる

\* コリントの教会の中には社会的な差別があって、争い、分裂、不和に脅かされていました。そこで、パウロは、一致を取り戻すために、社会的なつながりとか、感情的な共感性とかに触れるのではなく、「わたしたちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないか」、「パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを分けて食べるからです」という信仰の原点に戻るよう指導します。

\* ご聖体をいただくときに、同じキリストから喜びを受け、同じキリストからいのちを受けています。その原点に戻って、つまらない争い、妬み、嫉妬、排他的な考えから解放され、心から「キリストのように考え、キリストのように話し、キリストのように行い、キリストのように愛そう。力の限り」と歌えることができますように。

## 福音朗読 ヨハネによる福音 (ヨハネ 6・51～58)

### 味わう

\* 福音朗読の始めに「そのとき」とありますが、それは、「ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた」ときでした。たくさんの人々にパンを与えた後、イエスはいのちのパンであり、そのパンを食べる人が生きると教えてくださいます。今日の福音朗読には、9回ほど「いのち」に触れています。過越祭のとき十字架に掛けられたイエスの死は、やはり、永遠のいのち与える愛そのものでした。

\* 聖書と典礼には、「人の子の肉を食べ……」について、「非常に生々しい表現」とであると説明があります。何だろうと思って他の聖書の訳を見てみました。フランシスコ会訳は、ただ「食べる」、岩波書店の聖書では、「わたしの肉を食し」、山浦先生のケセン語訳では、「俺の肉をムシャムシャ食らい、俺の血をゴクリゴクリと飲む者は、いつでも明るく生き活きと生きる力を身に受ける」となっています。

\* キリストのおん体をいただくということは、復活されたキリストを“食べる”ことであり、「いつでも明るく生き活きと生きる力を」受け、前向きにキリストの弟子として歩めるということです。

\* 「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる」

### 祈る

\* 現在、コロナウイルスのことで、いまだに“食べられない”ご聖体ですが、「霊的な聖体拝領」の祈りをいつでも祈ることができます。聖堂の後ろのテーブルにその説明があります。

\* 計り知れないご聖体の神秘にあずかるには、たくさんの勉強をするより、聖櫃の前で、静かに座って、今日の福音のことばを一つひとつゆっくり味わいながら、わが主イエスを見つめ、救い主イエスに見つめられて祈る方が良いと思います。祈りを通して学びます。

\* 愛する人と一緒にいるとき、喜びが溢れ、時間の経つのが速いのです。祈りのときはどうでしょうか。

\* 「主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています」(ヨハネ 6・68～69) というシモンのことばに信頼して、「神の子、主イエス・キリスト、この神聖なからだと血によってすべての罪と悪から解放され、あなたのことばをいつも守り、あなたから離れることのないようにしてください」と祈りましょう。

## 生きる

- \* 「わたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる」ように。
- \* ご聖体的な生き方について思い巡らしてみます。
- \* ご聖体に対する信仰と愛を新たにします。
- \* わたしたち人間を生かしてくださるご聖体の意味とその指針に沿って歩みます。
- \* 自分の勝手、自分のわがままに生きるのではなく、
- \* 人々のため、人を生かして生きるように。
- \* 今週中、和解、一致、ゆるしをもたらす者として生きるように。
- \* 祈りを通してキリストに留まる者であったので、日常生活においてもキリストとともに生きるように。

キリストはブドウの木、わたしはその枝の一つ、  
いつくしみの雨に洗われ繋がっていたい、いつの日も  
キリストはいのちの泉、わたしはそのほとりにたたずむ  
みことばの水に満たされ、潤っていたい、いつの日も  
(「キリストはブドウの木」、『カトリック典礼聖歌集 一般用』310番)